

おおがわら

議会だより



第159号

令和3年5月1日

QRコードから議会の情報を
ご覧ください

大河原町議会



4月5日
桜保育所 入所式

関連記事 P18・P24

令和3年度予算概要	②③
予算質疑・討論	④⑤⑥
町政への提言	⑦
委員会活動	⑮
議案審議(1月・3月)	⑮⑯
町民の声	⑳

一般会計

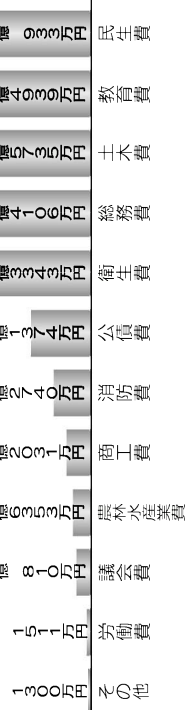
昨年より増
(前年度比3.6%)

92億

5175万円

3月会議

歳出



歳入



大河原中学校校体育館 建替え工事



4億2910万円



白石川右岸河川敷 整備事業

1億4035万円

雨水全体計画見直し 3460万円

(新)南桜公園整備事業 6800万円



1億4800万円

地域型保育運営 給付事業



事業名	予算額 (前年度比)
後期高齢者医療	2億8114万円 (0.2%)
国民健康保険	21億1199万円 (△5.5%)
介護保険	13億5598万円 (0.0%)
仙南夜間初動急患センター事業	3643万円 (△3.8%)
地方卸売市場事業	310万円 (△3.1%)
合計	37億8864万円 (△3.2%)

特別会計

事業名	予算額 (前年度比)
収益的支出	5億8639万円 (△3.8%)
公共下水道事業	3億4728万円 (38.3%)
資本的支出	6億2813万円 (7.2%)
水道事業	6億4879万円 (△5.7%)
合計	22億1059万円 (3.6%)

企業会計

3月会議は、新型コロナウイルス感染症対策をとったうえで、3月3日から3月17日までの会期で開きました。町から提案された議案（うち令和2年度各種会計補正予算8件、令和3年度各種会計予算9件）を審議し、すべて原案通りに可決しました。一般質問では、7人が町政を質しました。

令和3年度一般会計・特別会計・企業会計 委員間討議で 可決 算査 予審

課長生活 新型コロナの影響を受けているが、PRは例年通り実施しており、既に令和3年度の補助金申請に関する問い合わせもいただいている。

心のケアハウス
岡崎 今後の運営は「子どもの心のケアハウス」は事業実施から5年が経過し、補助金が減額してしまっただが、サービスに変化はないのか。

教養 県からの補助金は減額したが、その分を町から支出することになるので、総額に変化はなく、今年



度と同様の事業実施が可能。

生活センター
丸山 建替え等の検討は町内の生活センターはどれも老朽化が始まっているが、将来的に建替え等の対応は検討しているのか。

課長政 対応にあたる際には、地域住民の意向を確認しながら進めたい。

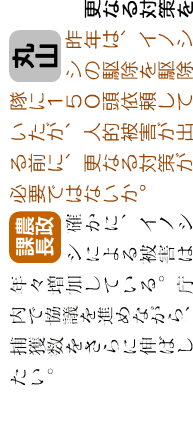


霊園仮設トイレ
丸山 常設化は頼母山霊園には、お盆や彼岸の期間のみ仮設トイレが設置されているが、常設化できないのか。

課長生活 利用者からの要望があれば検討したいが、メンテナンスや防犯の観点から、当面は仮設トイレで対応したい。

イノシシ駆除
丸山 更なる対策を昨年、イノシシの駆除を駆除隊に150頭依頼していたが、人的被害が出る前に、更なる対策が必要ではないか。

課長政 確かに、イノシシ年々増加している。年内で協議を進めながら捕獲数をさらに伸ばしたい。



卸売市場の
佐藤 活性化に向けて、市場の売上見込みが減少し、それに伴い市場使用料も減少している。例えば、施設の半分を民間業者に貸し出すなど、青果市場の役割を果たしながら対策に取り組む考えはないか。

課長観光 現状の株式会社、社のノウハウを活用しながら、維持していきたい。

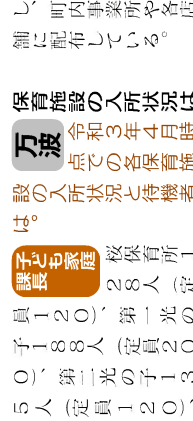


選挙事務
令和3年度の対応は
佐藤 12月会議にて、増数の議員が投票所や投票率に関する一般質問を行ったが、それを受けて、令和3年度予算に反映されたものは何かあるのか。

課長総務 投票所に関しては、令和3年度は従来通りに実施すると答弁している。投票率向上に向けては、町独自でポスターを作成し、町内事業所や各店舗に配布している。

保育施設の入所状況は
万波 令和3年4月時点での各保育施設の入所状況は待機者は。

子ども家庭 校保育所128人(定員120)、第一光の子188人(定員200)、第二光の子135人(定員120)、



金ケ瀬カトリック73人(定員60)、ぽこほ76人(定員60)、キッズフィールド大河原園12人(定員12)、フオルテ園18人(定員19)、駅前園12人(定員12)、ふくふく11人(定員9)となっている。待機者なし。



白石川右岸に
児童公園の整備を
万波 白石川右岸河川敷の整備が進んでいるが、家族連れで利用できるような児童公園は検討されているか。

3月11日から16日にかけて行われた予算審査特別委員会での質疑の一部を掲載します。なお、議長(佐藤貴久)は委員に含まれず、委員長(佐久間克明)は議事運営のため、質疑を行いません。

舗装補修等工事費
増額の要因は
須藤 前年度より約7900万円増額しているが、主な要因は。

地域整備 起債事業が令和3年度までとなっており、工事を繰り上げた分も計上される。

学校エアコン
点検の頻度は
須藤 各学校にエアコンが設置されたことは量ばしい。令和3年度は保全点検委託料が計上されているが、今後毎年行われるのか。

課長総務 令和2年度に初めて全学校でエアコンが稼働したため、点検するべきと判断。来年度以降は、今後検討する。

地域防災計画改定
マップとの整合性は
須藤 地域防災計画を改定するようだが、現在全戸配布されている防災マップとの整合性はとれるのか。

課長総務 防災マップに変更が生じた場合には、おしらせはパンフレット等を配布し周知を図る。



防犯カメラ
設置場所は
大沼 学校防犯カメラはどこに設置されるのか。

課長総務 児童の出入りの多い出入口に設置する。

リシコン型草刈機
河川敷での活用は
大沼 この機械(写真)で河川敷の除草作業はできないのか。

地域整備 白石川・荒川堤防河川敷の除草はシルバー人材センターに委託することだが、県から示された条件となっている。



ごみ集積所
正しい利用を
大沼 コロナの影響もあるため、ごみ集積所に事業所のゴミを持ち込む様子が見受けられるが、看板などを立てて注意喚起できないか。

町民生活 そのような事例が見られる場合には、各行政区長を通じて現場に相談してもらい、その上で対応にあたる。

子ども食堂
今後の開設指導は
萬 コロナ禍で活動縮小している子ども食堂だが、今後どのように開設指導していくのか。

子ども家庭 現時点で具体的に動いているわけではない。将来的には、各小学校区に1つずつを目標にしている。

学校運営協議会
地域住民の参加は
萬 学校運営協議会のメンバー構成において、保護者や地域住民の占める割合は。

教養 定員15名のうち、14名は地域住民のかた。地域の皆さんの声を、より広く学校運営に取り入れたい。

スマートハウス
PR効果は
萬 「スマートハウス補助金」が前年度より150万円の減額だが、PR効果をどう評価しているか。



一般質問

町政への提言Q&A

一般質問とは、町長や教育長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどを問い質すもの。今回7人の議員が行った。

高橋 芳男	●見守り電球の普及を ●弱視対策にフォトスクリナーの導入を ●ヤングケアラーの調査と支援を	P⑧
万波 孝子	●地震被災者に支援を ●新型コロナウイルスのワクチン接種にあたって ●国保料、子どもの均等割軽減を	P⑨
須藤 慎	●死亡手続きの一元化等について ●柴田高校野球部への支援について ※新型コロナウイルス感染症対策等について（掲載なし）	P⑩
大沼 忠弘	●みやぎ県南中核病院運営費用負担金について ●検討、協議のその後を追跡 ●東日本大震災より10年を経て	P⑪
岡崎 隆	●改めて災害時の対応を問う	P⑫
佐久間 克明	●コロナ禍の打開策は ●再生可能エネルギーによる地産地消	P⑬
高橋 豊	●地域活性化について	P⑭

※は、該項の都合により掲載できなかった質問。
内容は、大河原町議会ホームページ内の「インターネット議会配信」で確認できます。
(<https://ogawara-town.stream.jit.co.jp/>)
各一般質問の録画は、QRコードからご覧いただけます。



楽器の修繕

秋山 金子 瀬小学校の音楽室にある楽器の状態が、あまりにも悪すぎる。子どもたちは楽器に触れることをとても楽しみにしているの、早急に対応するべき。

教育長 子どもたちには申し訳なく思う。修繕費は毎年計上しているが、それを使わずに放置していたため、学校長や音楽担当の教員に指導した。

中核病院出資金

秋山 中核病院への出資金が昨年より1000万円増加しているが、詳細は。

地域整備課長 河川敷の中に田んぼ側に検討する。

健康推進課長 中核病院によると、年々元金の償還が増えるという話は聞いている。また、平成27年度に借入した分の償還回数が11回となっており、令和3年度9月時点で154万9千4000円の支払いが残っている。



水飲み場の位置の検討を

山崎 大河原中学校グラウンド内の水飲み場について、プール側へ位置を移すことはできないか。
教育長 位置については検討の余地があるので、今後学校



山崎 トグランの詳細は河川敷に整備されるトグランの詳細を。

地域整備課長 延長300m、幅20m。高さ1.2mの囲いを設け、犬種にも配慮して整備する。

備蓄食料の処分方法は

山崎 令和3年度も備蓄食料を確保するようだが、古くなったものはどのように処分するのか。
課長 期限が切れそうなのは、防災

訓練や講習会の際に配布していた。コロナ禍だが、地区の防災訓練は、そちらでも供給する予定。

委員間討論

観光物産協会 法人化することでの職員体制や営業力、企業努力について、どうあるべきかの討議が行われた。退職職員が所長になる人事の適性や運営、収益等について各委員から意見が出た。

国庫補助金

本町にどのように活用されているかについての討論が行われた。国からの補助金は、用意されたメニューの中からエントリィを行い、採択されるもの。補助金の種類により、所管等の討論が行われた。

総括質疑

万波 孝子

中核病院における産婦人科医確保の見通しは。

町長 産科医の募集はしているが、今後は病院内に分娩再開に向けた準備委員会を立ち上げ、一層活動を強化すると伺っている。

万波 豪雨のたびに水害に苦しむ町民のために、雨水計画の見直しは急務であるが、見直しは。

町長 優先して整備を行う浸水対策地域を決定し、早期に着手するために下水道の雨水計画を見直す。

万波 学校給食費を無償化する自治体が増えていて。本町でも前向きに検討できないか。

町長 令和2年度はコロナ禍で1学期分(50食)の給食を無償とした。今後も同様の措置は検討するが、年間を通じての無償化は考えていない。

万波 町に学芸員を配置する考えは。

町長 必要性は認めるが、当面は文化財保護委員等の協力をいただき、業務を行う。

万波 コロナ禍で収入減や失業のために苦しむ子育てひとり親、2人親世帯へ支援策を。

町長 感染推移を見据えて検討する。

万波 教職員の働き方改革として部活動指導員が設置されるが、どの学校に設置されるのか。

町長 金ヶ瀬中学校バレーボール部に1名と、大河原中学校にも1名配置を目指す。

副反応等の情報開示は

広報等で情報提供する



万波 孝子

万波 町民の中には、ワクチンへの不安の声がある。安全性や副反応のリスクなどの情報をどのように開示していくのか。

町長 広報やホームページ等で、広く

万波 高齢者ひとり世帯、障がい者世帯などには、きめ細かな支援が必要ではないか。

町長 親切丁寧個別指導を行う。



集団接種の受け入れ体制は万全か

万波 接種相談などに対応するコールセンターは、どこに設置するのか。

町長 仙台市の委託業者が、町と連携して対応する。平日午前9時から午後5時まで。

万波 集団接種と個別接種の併用について。町外のかかりつけ医でも接種できるのか。

町長 個別接種は平日に町内医療機関で。集団接種は休日にも総合体育館で。基礎疾患のある人などは、町外で接種可能。

万波 在宅介護を受けている人や病院、介護施設に入所してい

る接種希望者への対応は。

町長 かかりつけ医や嘱託医等が行う。※後日、金ヶ瀬公民館が会場として追加された。

地震被災者に支援を

2月13日深夜、町内で震度5強を観測する大きな地震が発生した。10年前の東日本大震災の余震とみられ、あと10年は余震が続くと見られている。

万波 今回の地震による被害は。

町長 軽傷者1名、断水75戸。また、家屋の倒壊はないが、一部損壊で火災証明89件の申請。

万波 被災者に対し、町独自の支援策を。

町長 ご苦労とご心労は十分理解するが、独自の支援策は考えていない。

万波 県地区では、合併浄化槽が壊れた。合併浄化槽整備事

業は補助事業なので、補助すべき。

町長 浄化槽は個人所有なので、補助は考えていない。国・県に支援を働きかける。

国民健康保険税は高い 子どもの分は軽減を

万波 国保税は他の健康保険には違い、人数に応じた均等割が負担になっている。巨理町では、子どもの分は全額免除を決めた。本町も考えていくべき。

町長 子どもの均等割軽減については、現時点では町の独自施策となるため、各都道府県化の保険税水準の統一化等に備え、慎重に検討していく。

※国民健康保険税の40未満の被保険者一人あたりの均等割額は2万9500円(年割) ※例えは、40歳未満の夫婦と子2人の世帯であれば、均等割合計額は11万8000円(2万9500円×4人分)の負担となる。

高齢者向けサービス

一般質問

見守り電球の普及を

実証実験の結果 継続者なし

高橋 高齢者の一人暮らしが増加する中、N市の高齢者向け見守りサービス「見守り電球」が注目されている。

本町では、3月現在で1250人のひとり暮らしの高齢者が生活しており、工事の必要もなく、簡単に設置できる「見守り電球」のサービス導入を検討すべき。

町長 以前、本町でも「見守り電球」の

実証実験を実施したが、残念ながら利用を継続する方はいなかった。民間事業者でも様々なサービスが行われているので、今後も利用者のニーズに合ったマッチングができるように努める。

弱視対策にフォトスクリーナー導入を

高橋 弱視による失明率は、40歳以上

における片眼失明の原因第1位である。

日本眼科学会などは、3歳児眼科検診時に「通常の視力検査に加え、フォトスクリーナーを用いた屈折検査を併用することが望ましい」と提言している。

フォトスクリーナーは操作が簡単に数秒で検査が終了するだけでなく、精度の高さも報告されている。

わが町でも導入を検討すべき。

町長 現在行っている視力検査方法は、全国統一のものだが、大河原町医師団会から意見を伺うとともに、既に活用している自治体の導入結果等を参考に、今後検討する。

ヤングケアラーの調査と支援を

高橋 ヤングケアラーとは、若い世代の看護者のことで、18歳未満のヤングケアラ

ーが全国にはかっている。

日本ケアラー連盟によると、病気の親に代わり、障害のある家族の介助や幼い子どもなどの世話をしているヤングケアラーもいると言っている。

子育てをする時期と親の介護が重なる「ダブルケア」と併せて、調査や支援を進めていくべき。

町長 アンケート調査やハローワーク

への確認では、本町でヤングケアラーに該当する相談はほとんどないようである。

しかし、当事者自身がそのような状況であると理解していない、あるいは、周囲には相談しにくいという指摘もある。今後も各種相談業務の充実や関係機関との連携を密にし、状況の把握に努める。



高齢者の見守りシステム構築を

大沼 中核病院と刈田病院の医療連携や機能分化を機に、構成自治体外の費用負担を考える時期と受け止めている。町長の考えは。

町長 二次医療圏全体より具体的な費用負担等の在り方についても議論が交わるように働きかけていく。



仙南医療圏で応分の負担を

検討、協議の
その後を追跡

大沼 地域担当職員制の周知は。

町長 コロナ禍により行政区の行事が見送られ、周知が実現していない。新しい制度への移行や見直しが必要と考えている。

大沼 校の保護・育成の基金の創設は。

町長 毎年度の経常的な予算措置で進める。

大沼 柴田町と連携して、一目十本校を「ふるさと名物応援宣言」してみたい。

町長 宣言を行う土壌が整っていない。



大沼 忠弘



須藤 慎

コストアップで対応を

総合窓口設置の検討を進める

親や配偶者が亡くなり、死亡届けを提出後に役場等で行う手続きが様々にある。ご遺族はそれぞれ窓口で事情を説明し、多くの手続きを行わなければならない。ご遺族の負担軽減を図る必要があると考える。

須藤 死亡手続きの際、最も多いケースで窓口は何か所にまたがるのか。

町長 11か所。

須藤 ご遺族の煩雑さを軽減すべく、手続きをワンストップで対応できるようにすべき。

町長 政府の内閣官房一丁総合戦略室において、行政手続の見直しを進めている中で「おくやみコーナー」を設置する自治体を支援するとしており、支援システムの構築を進

めている。本町においても政府の取組状況を注視しながら、死亡手続きに係る総合窓口の設置について検討を進めていきたいと考えている。

須藤 役場庁舎内の窓口カウンターを低くし、座って対応できるようにすべき。

町長 これまで庁内の執務改善検討会議などにおいても協議が行われているが、高

齢化の進展も踏まえ、順次設置していく必要があると受け止めた。



全国各地で設置が進んでいる「おくやみコーナー」

柴田高校野球部へ
支援を

第93回選抜高等学校野球大会（選抜甲子園大会）に柴田高校野球部が見事初出場することが正式に決定した。部員にはらな（1年生4名、2年生の女子マネーシャ1名）の大河原中学校卒業生が在籍している。更に学校全体で69名の大中学、金中卒の在校生が通学している。

須藤 柴田町にある学校とは言え、隣町として何らかの支援をすべき。

町長 町独自の公費による支援は考えていない。役場内において、課長会等の有志による協賛金の取りまとめや個人での協賛金を広く募っている。今後、広報誌での取り上げや協賛金に関する趣意書の配布など、できる限り側面から支援を行っていきたい。

との返答があった。

大沼 集会所など地域の施設に土のうの常時配備を進めるとのことだったが、配備状況は。

町長 浸水被害が予想される地域の施設等に配備を進める。土のうの管理が可能な公民館などへの分散配備も同時に進める。

東日本大震災から
10年を経て

大沼 災害用備蓄品の状況は。

町長 食料や水、非常食、消毒液、トイレ詰トベーパーなどを防災倉庫や各小中学校に分散備蓄している。

大沼 災害に備えて締結された協定等は。

町長 自治体間での応急搬送やライフライン、通信、福祉避難所など合計34協定。

防災マップの掲
示状況は。

町長 医療機関及び介護施設、保育所、幼稚園、小中学校などに掲示。

大沼 仙南夜間初期急患センターへの誘導案内看板を、道路標識の支柱に追加できないか。

町長 多額の収入不足が続く中、多額の費用を要するため予定していない。

大沼 自治体クラウドの導入は。

町長 「自治体クラウド専門部会」に参加し、導入にあたっての課題などについて話し合っている。構成市町村と足並みを揃えて対応したい。

大沼 目石川に堆積した土砂の浚渫は、県に要望した返答は。

町長 現地を調査し防犯上支障があれば環境等に配慮しながら計画的に対応する

薪ストーブ購入に補助を

今のところその考えはない

佐高 持続可能で安心安全な、新たな再生可能エネルギーの地産地消モデルを創造するため、地域資源を活用できる薪ストーブ

等の購入補助金を検討してはどうか。
町長 本町では、住宅型太陽光発電設備等の設置者に補助を行っている。過去3年



地産地消で安らぎの自宅時間を

間の新築住宅のうち約26%が交付を受けており、再生可能エネルギーの普及に繋がっていると認識する。
佐高 目指すところは、里山づくりである。例えば、山沿いの方は裏山の間伐材を家の前で無人販売し、それを町民が薪ストーブに使用する。こうした地産地消で手付けずの山の間伐が可能になり、山と平場の境がはつきりすることで、鳥獣被害対策にも繋がる。コミュニティ形成の面でも、好循環を生むのではないかと。



佐久間克明

難しいと考える

岡崎 「地縁」という視点をもち、大切にするべき。中部地区の区画整理事業終了後は新田町、本町1・2区、中町区、上町1・2区の6行政区について、単純に東西方向に行政区を分けたことで、現在は災害時の共助が機能しなくなっている。災害が頻発する今こそ、バイパスや分かりやすい道路で区切るような、思い切った改編

応ができた認識している。
岡崎 本町は昭和32年から土地区画整理事業が始まり、平成になる頃には、ほぼ終了している。人口の変化に合わせて、行政区面積の抜本的な見直しが行われるべきだったのではないかと。
町長 その点については、もともと多面的に議論されるべきだと考える。

出水期の洪水、台風被害に備えるためにも、行政区改編は急務である。
岡崎 地震翌日も安否確認に奔走した行政区長もいる。各区の状況は把握できているのか。
町長 町では13日深夜のパトロールを実施している。また、行政区長にも2度の電話連絡を取るなど、適切な対

2月13日の深夜11時7分に、福島県沖を震源とする地震が発生した。本町も大きな揺れを感じたが、幸いにも人的被害は軽傷者1名であった。深夜ということで、地域ごとの安否確認には大きな支障があった。以前から指摘しているが、希薄になった地域コミュニティを改善する取り組みがなぜ行われないのか。頻発する大規模地震

行政区

一般質問



岡崎 隆



が必要。そういう取り組みが、命と暮らしを守る第一歩ではないか。
町長 簡単に実現できる話ではないと感じる。あまりにも大胆な行政区再編は、住民の理解を得られないのでは。
岡崎 財政面を考えると、行政区の改編に合わせて公共施設の床面積等も再検討し、身の丈に合った施策を

進めていく必要があるのではないかと。
企画財政課長 令和3年度に集合庁等公共施設の個別計画策定を予定している。どういった施設が本当に必要なのかという検討をしなければならぬと感じている。



地縁を大切にまちづくりを

課長 民生 本町の林業の現状から、燃料用木材の地産地消モデル創造や雇用創出は難しい。今は機器購入費補助の考えはない。
二口十橋の打開策は
宮城県商工会の調査によると、サービス業における昨年10月〜12月期の売上額は、7月〜10月期より悪化している。経営上の主な問題点として「需要の停滞」「利用者ニーズの変化」が挙げられ、踏み込んだ持続性のある施策が必要。
佐高 仙台店では、参加飲食店のテイクアウトメニューをタクシー会社が配達する「タクテイク」や、泉パークタウンなどの「タビテリ」がある。スマホによる電子決済が、配達時の現金支払いが可能。個人事業主店舗で

はこうしたノウハウがないと思われるため、導入部分は町の動きかけが必要ではないか。
課長 観光 商工会とも協議したが、町レベルでの導入は難しい。制度設計に課題が多く、早急には手掛けられないと考える。
佐高 テイクアウトメニューの紹介について、テコ入れが必要ではないか。
課長 観光 町ホームページに関しては、トップページから閲覧できるように工夫する。また、商工会ホームページには未掲載のため、掲載を依頼した。今後情報を随時更新しながら、最新版を掲載できるように努める。

一般質問

地域活性化

アフターコロナ時代は

社会のデジタル化必要

日本全体で問題になっている地域間格差。都市部への人口流入により、地方では人口減少や少子高齢化問題など、数多くの問題が山積している。昭和の時代に右肩上がりだった経済も平成の時代に停滞し、令和においても見通しは暗いと言わざるを得ない。

さらに、ここに来て新型コロナウイルス感染症の流行により、観光産業や外食産業は大

打撃を受け、廃業や倒産に追い込まれる業者が後を絶たない。2月承認のワケチンに期待をかけるが、現段階では収束も見えてこない。このような時代だからこそ、未来を見据えた地域活性化が必要と考える。

高橋 アフターコロナ時代における地域活性化に向けての方策は。

町長 コロナ禍では、厳しい状況下で

も環境の変化に対応するという危機意識が、極めて重要な視点になった。今後はリモートワークの普及等により、働く場を地方に移すような社会のデジタル化が重要だと考える。

本町においては、人口や子どもの数、働き手の維持に努めながら、官民一体の発想でまちづくりを進める。

高橋若い世代に対する定住促進の取り組みは。

町長 第3子以降のお子様が生まれた家庭への一子育て応援、出生祝い金の支給や、子ども医療費助成制度の対象を18歳までに拡大するなどの支援を行っている。また、中学生が対象の「まちづくり夢・未来会議」は、町への誇りや愛着を醸成し、定住促進に繋がると考える。

高橋 雇用や創業支援への取り組みの成果は。

町長 指定業者に対し、雇用促進奨励金を交付。商工会と連携し、特定創業セミナー等も開催。3年間で4件創業している。

高橋 白石川右岸河川敷の整備が進められている。地域活性化にどのように繋がるかと考えているか。

町長 本町の拠点性、利便性を活かし、桜の季節以外でも楽しめる新たな賑わいスポットを目指している。サイクリング、ウォーキングロードのほか、ドッグランやパークゴルフ、BMXコース等を整備。来訪者が増えることで経済効果が見込め、地域活性化につながる。



イメージ図

地域活性化の起爆剤となるか

委員会活動

総務産業常任委員会

「公共施設等総合管理計画」の進捗状況

計画策定の背景と目的

長期的な視点をもって施設の更新や統廃合、長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現することが必要。平成26年4月に総務省より「公共施設等総合管理計画の策定要綱」が出され、本町では、平成28年3月に策定している。

計画期間 平成28年度（2016年度）から令和37年度（2055年度）までの40年間。

公共施設等管理の基本方針

- 目標1 施設量適正化の推進
- 目標2 長寿命化の推進
- 目標3 適切な施設配置と民間活力導入の促進

長寿命化計画の策定状況

- インフラ施設（下水道↑平成28年度策定済）
（上水道↑未策定）
（道路・橋梁↑平成31年度策定済）

- 学校教育施設（令和2年3月策定済）

※今年度に長寿命化計画が策定される施設

社会施設（医療・保健福祉・子育て支援施設、行政施設）

まとめ 厳しい財政状況の中、今後も人口減少等により公共施設の利用需要が変化していくことが予想される。公共施設全体の状況を把握し、計画的に更新や統廃合、長寿命化を行っていく必要がある。

文教厚生常任委員会

町内介護事業所（有有限会社ケイ）現地調査

事業の内容 南桜ケアサービス、デイサービスセンター、宅差所くすのき、居宅介護支援事業所、南桜レンタル（福祉用具、有料老人ホーム、障害者相談支援事業所、生活介護、放課後等デイサービス、就労継続支援B型など。

福祉事業の現状

- 介護施設の入所を希望しても、人手不足で待機を強いられるケースもある。
- 障がい者10人に対し職員1人の配置が可能となっているが、就労継続支援施設や放課後デイサービスはスタッフをしっかりと確保できていないと、手が回らない状況にある。
- 国の方針としては、グループホームへの移行を目指している。
- 現在、仙南地域における障害者サービス事業所は52か所、生活介護は5か所、就労継続支援B型は10か所となっている。
- 仙南地域は県北と比べると、障害者短期入所施設が少ない。
- 現在、障害者サービス事業は「富山型」が主流となっている。



富山型サービスとは

障がいの種別や年齢の枠を超え、1つの事業所でサービスを提供する。利用者にとっては、住み慣れた地域の中で目の行き届いたサービスを受けられることができる。

まとめ 地域密着型で高齢者や障がい者福祉事業の一端を担っている。より質の高い事業を目指し、富山県等の先進地に職員を派遣し研修を兼ねている。町としても、町民ニーズに応えるために、地域事業者と一層の連携強化が必要ではないか。

3月会議

可決

報告
2件諮問
1件同意
1件委員会
1件議案
29件

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例
学校運営協議会を令和3年度に大河原南小学校、令和4年度に全ての小学校に設置するにあたり、学校運営協議会委員の報酬を月額2000円と定める。
大河原町保育所条例
本年3月22日から児童を受け入れるため、保育所の位置を現在の住所に定める。



解体され、公園となる旧校保育所

大河原町世代交流いきいきプラザ条例
駅前コミュニティセンター条例
使用料納入方法の変更に伴う改正。
指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等
省令等の改正に伴い改正。
国民健康保険条例
新型コロナウイルスの法的な位置づけが変更された

専決処分

新型コロナウイルスワクチン接種事業
1607万円
クーポン券印刷封入等委託料180万円、コールセンター業務委託料300万円など。

一般会計補正

令和2年度第10号補正

中核病院減収対策追加負担金 2670万円
中核病院の資金不足を解消するため。
新型コロナウイルス感染症対策医療機関支援給付金 1190万円
町内の診療所29か所に30万円ずつ、保険薬局16か所に20万円ずつ交付し、医療体制の維持

大河原町世代交流いきいきプラザ条例
駅前コミュニティセンター条例
使用料納入方法の変更に伴う改正。
指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等
省令等の改正に伴い改正。
国民健康保険条例
新型コロナウイルスの法的な位置づけが変更された

今回の議案では、5月から接種が始まる予定の新型コロナウイルスワクチンに関連した補正予算や、大河原中学校体育館の工事請負契約などについて、活発に議論が交わされた。

継続を図る。
介護及び障がい者（児）サービス事業所支援給付金 260万円
衛生用品等購入費用として、1事業所あたり10万円を追加交付。
大河原中学校屋内運動場増設事業設計業務委託料
△3187万7000円
桜保育所設計管理委託料他
△1186万円
請差により減額。
（全会一致で可決）

令和3年度第1号補正

新型コロナウイルスワクチン接種事業
1億2222万円
ワクチン予防接種委託料7802万円、職員の時間外勤務手当1

ため改正。
介護保険条例
保険料の改定や低所得者の保険料の軽減強化を令和5年度まで継続するため改正。
道路占用料条例
道路占用料の単価を、政令及び県条例に準じて改正。
公共物管理条例
道路法施行令の改正に伴い改正。
都市公園条例
校保育所旧園舎を解体し、跡地に南桜公園を新たに整備する。また、公園占用料も道路占用料等と同一料金体系としているため、こちらも改正。

工事請負契約

大河原中学校屋内運動場増設外工事
契約金額
8億5690万円
落札業者
㈱八重軽工務店
工期

令和4年2月28日迄
（全会一致で可決）

その他議案

町道路線の認定
町道路線として、新たに東原町14号線、15号線を認定。
（全会一致で可決）

工事請負契約の締結

人事

副町長の選任
藤田 秀明氏
（全会一致で同意）

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて
鈴木 浩子氏
（賛成多数で同意）

委員会発議

大河原町議会政治倫理条例の一部改正
町民の役割、倫理の基華、審査会の職務及び権限、審査結果の措置などを見直したものの。
（全会一致で可決）

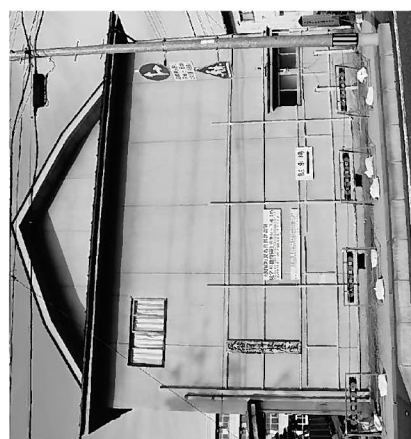
960万円、コールセンター業務委託料1400万円など。

2月13日に発生した地震の被害対応として、以下のように計上された。

損壊建築物自主解体撤去処分補助金 700万円
農業用施設復旧工事費 1100万円
道路復旧工事費 600万円
民俗資料収蔵室解体工事費 860万円
民俗資料収蔵倉庫新築工事費 1000万円
（全会一致で可決）

特別企業会計補正

以下の令和2年度補正予算を全会一致で可決した。
後期高齢者医療
△368万2000円
国民健康保険
2億1765万円
介護保険



解体される民俗資料収蔵室

△4940万6000円
仙南夜間初期急患センター事業
△100万円
地方卸売市場事業
31万2000円
公共下水道事業会計
事業収益 1834万2000円
事業費用 △736万7000円

条例制定

大河原町景観条例
県が「仙南地域広域

景観計画」を策定したことに併せて、本町も景観行政団体に移行した。今後、景観法や景観計画を運用するため、届出対象行為や適用除外行為等を定めるために制定。

（全会一致で可決）

条例改正

以下の条例に関する一部改正を、全会一致で可決した。

自治功労者表彰

全国及び宮城県町村議会議員会表彰
（15年以上在職者）

佐藤 貴久
山崎 剛
仙南地方町村議会議員会表彰
（11年以上在職者）

堀江 一男
丸山 勝利
岡崎 隆

3月議会において、自治功労者表彰の伝達が行われました。今回は5名の議員が、永年にわたり地域の振興・発展に尽力した功績により、表彰されました。



ワクチン接種までの流れ

オカワワマシ
大河原町

令和3年4月12日時点

1. 接種券（クーポン券）が届く
町から、『接種券（クーポン券）』・『町からのお知らせ』・『第一回目の予診票』が届く。

2. 接種場所を選ぶ

- 個別接種
以下の医療機関で受ける
安藤医院 かわら医院 日下内科医院
甘糟医院 庄司クリニック 平井内科
さくら内科消化器科 さくらの杜診療所
- 集団接種
以下の会場で受ける
大河原町総合体育館（はなこアリーナ）
金ヶ瀬公民館 ※7/17～9/5の期間

3. 予約をする

- 個別接種
直接、医療機関に予約してください。
※接種や予約ができる日は医療機関により異なります。別途確認してください。
- 集団接種
下記予約ダイヤルに連絡し予約します。（平日午前9時～午後5時）
『0570-023-153』…大河原町新型コロナウイルスワクチン接種予約ダイヤル

4. 予診票を記入する

5. 接種会場に行く

- ① 受付をする
『接種券（クーポン券）』と『本人確認書類』を提出
② 検温と予診票を確認
※予診票は接種券に同封します。

6. 予診

- ① 医師による接種の可否判断
- ② 接種の意思を確認

7. 接種

- ① 接種
- ② 経過確認（15分以上）
- ③ 接種済証等の交付

接種可 → 接種不可

8. 接種不適（予診のみ）

※ ワクチンは3種類あり、選択することはできません。
接種は、一人が決められた間隔を空けて、二回受ける必要があります。

※町ホームページより

新型コロナウイルス ワクチン接種までの流れ

コールセンター

受付時間は平日の午前9時から午後5時まで。町で実施するワクチンの時期、予約方法などに関する町民からの問い合わせに対応しています。

ています。

大河原町新型コロナウイルスワクチン接種予約ダイヤル
05057000231



40年の長きにわたって多くの子どもたちを育ててきた「町立桜保育所」が新しく生まれ変わりました。
新しい施設には、給食用の昇降機や床暖房などが整備され、子どもたちにとって快適な保育園環境となつていきます。また、自動排煙設備をはじめとする安全への配慮もあり、保護者のかたが安心してお子様を預けることができます。

4月5日には新しい建物で入所式が行われ、新たに29名の子どもたちが仲間に加わりました。のびのびと育ち、これからの大河原町を輝かせるよう子どもに成長してくれることを願っています。



新しい桜保育所 駐車スペースも増加した



建物の面積が広がり、ゆとりのある保育が可能に



日の光が差し込む開放的な保育室



入所式が行われた「さくらホール」



広々とした所庭に新しい遊具も



屋根付きプールで雨でも安心

全員協議会

3月3日に開催（令和2年度第11回）の説明・報告事項は17件と多岐に渡った。新型コロナウイルスワクチンの接種については19ページに掲載。

大河原町景観条例の制定

県で定めた「仙南地域広域景観マスタープラン」の主な策定項目に実効性を持たせるため、景観法に基づき「仙南地域広域景観計画」を策定。2月28日に仙南2市7町は景観行政団体に移行。

町は「大河原町景観条例」を制定し、令和3年7月1日から施行する。

- これに伴い、大河原町の景観特性である
- 日石川の流れと一目千本桜、遠くに見える蔵王連峰との一体感
 - 大動脈である奥州街道沿いにある宿場町の名残を今に伝える街並み。
- を守るため、建築物や工作物、開発行為、木竹の植栽や伐採に対し、高さや色、閉塞感を感じさせない等の適合審査が必要となる。



特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

令和3年度から大河原南小学校において「学校運営協議会制度（コミュニティスクール）」が設置されます。（令和4年度から他の学校でも設置）

コミュニティスクールとは

「学校運営協議会を設置した学校」のことで、学校運営や学校の直面する課題に対して、保護者や地域住民が広く参画できる仕組み。これまで以上に地域とともにある学校づくりを目指す。

ほ場整備の進捗状況

◆現在の整備済み区域は87ヘクタールで18%の進捗。

金ヶ瀬西地区 86・4ヘクタールについて、令和3年度から令和5年度に県事業による調査を町負担2分の1で実施する。地権者220名の同意済み。

大河原西地区 106ヘクタールについて、令和5年度まで県が調査を行い、地権者から同意を得る。令和6年度以降の実施となる見込み。

大河原中部地区89ヘクタール、大谷地区33ヘクタールについては未定。

大河原町水道事業経営戦略(案)・公共下水道事業経営戦略(案)の策定

将来にわたり、安心安全で持続可能な水道事業、下水道事業の確立を目指した経営戦略の策定にあたり、長期的な人口推移を基礎とした50年間の投資・財政計画の検証をもとに、今後10年間（2021～2030）の収支計画を策定している。シミュレーションの結果、令和17年度までは企業債の償還（設備投資返済）が大きく、単年度収支において赤字が続くが、令和18年度以降黒字に転じてくる予想としている。今後、5年に1度見直しを行う。

大河原町地方卸売市場経営戦略(案)の策定

市場を取り巻く環境

- 仙南地域の拠点市場として適した位置にある。
- 人口減少による食料消費量の減少、消費者ニーズの変化、市場外流通の拡大により、市場取扱量は減少。さらに、生産者及び買入人の高齢化や担い手不足が生じ、減少傾向が続いている。
- 施設老朽化が進み、改修・修繕を年次的に対応している現状がある。

経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

- 卸売業者が市場運営全般を担い、町が運営する施設の整備や改修、修繕を行い、黒字の市場運営となっているが、課題は多く、展望が見通せない部分がある。5年後を目安に全体的に見直し、改正を行う。

学校運営協議会とは

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること
- 学校運営について、教育委員会または校長に意見を述べるができる
- 教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる（ただし、教職員個人に対する任用についての意見は除く）

住民訴訟の経過及び判決

経緯 損害を相填するために必要な増置を講ずるよう、町に対して勧告すること求めた住民監査請求が棄却されたことを不服とし、訴訟に至る。

令和元年8月26日付（原告）大河原町民

学校給食センター整備運営配送事業に係る契約が違法であり、その結果、町に損害を与えたとして、①被告（齋清志町長）は齋清志氏（個人）に対し、1億4461万7940円及び訴状送達日の翌日から支払済みまで年5分の割合による金員を請求せよ。②訴訟費用は被告の負担とする。との判決を求めた住民訴訟を仙台地方裁判所に提訴した。

令和元年9月19日 町は裁判所より訴状を受理。

令和元年10月17日・11月25日 口頭弁論

令和2年10月21日 口頭弁論をもって弁論期日終了。

令和3年2月18日

- 1 原告の請求を棄却する。
- 2 訴訟費用は原告の負担とする。

という、町の主張が全面的に認められた判決となる。

ただし、町側の弁護士費用（539万円の着手金＋経費）は町支出。

副町長の選任について

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて
高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画等の説明について
農業振興地域整備計画の見直しの進捗状況について
大河原町議会政治倫理条例の一部改正について

全員研修会

毎年、議会議主催の研修会を、町民の皆様及び近隣議会議員に参加いただき開催しているが、今回はコロナ禍のため、本町議員でのみを対象として「タブレットセミナー」を開催した。

研修当日は、議員一人1台ずつタブレット端末を手にして、全国290（令和2年12月時点）を超える議会や自治体で採用されている「サイトブックス」というペーパーレス議会システムを実際に体験した。会議機能には、会議進行中にもファイルが追加できたり、事務局側から全タブレットに一括配信することも可能。また、多彩な手書きメモ機能を搭載しており、文書管理においても仕分けをして保存できるほか、大量の分厚い冊子であった資料や例規集もタブレットの中に保存して持ち運べるため、現場で必要な時に必要な書類がいつでも閲覧可能となっている。全国230自治体の平均値では、タブレットで大量の資料を閲覧できるようになると、年度あたりの資料登録数は平均10000ページにもなり、本町における実際のペーパーレス効果は議員定数15をかりれば計ることができる。今後も、議会のICT化がなぜ必要なのかを検討しながら活かしたい。





インタビュー 町民の声

子育てや町に望むことを
お聞きました。

住みやすい町 より子育てしやすい環境を

プロフィール

島垣 由希子さん (新田町区)
柴田町出身
【家族】夫 子ども2人
4人暮らし

自然豊かで住みやすい

結婚を機に柴田町から大河原町へ移り住みました。今年で15年目になります。最初に住んだところが、一目千本桜の桜並木が目の前に広がる土手沿いのアパート。そのあまりの環境の良さにほかの場所へ引越すことができず、15年目を迎えた今も同じ場所に住み続けています。冬には白石川へ飛来する白鳥も見ることができ、大河原町は自然豊かで、とても素敵な町だと感じます。小学校2年生と5年生になった息子たちも、この自然豊かな環境ですくすくと育ち、元気に学校へ通っています。



便利な町

大河原町の便利なところは、お店が多くボウリング場や映画館など遊べる施設も充実しているところ。また、各種機関が集まっているため、運転免許の更新や確定申告などの手続きが町内で行えると便利です。毎日忙しく過さる時

間の中で、何をすることも他市町に移動する必要がなく、移動時間も少なく済むということとは、大きな利点だと感じます。

子育てしやすいまち

数年前に子どもの医療費免除の所得制限が撤廃されたことにより、息子たちの医療費がか

からなくなったことは、とても助かっています。学校給食費も無料化されれば、小中学生のいるご家庭の皆さんも助かると思いますし、他市町から仙南地区へ移動を考えている若い子どもがいる世帯の転入にも繋がるのではないかと思います。これからますます住みやすい町、元気な町になっていくことを期待しています。

6月議会のお知らせ
招集日 6月2日(水)
再開日 6月8日(火)
詳細は議会事務局まで ☎(0224)53-2800

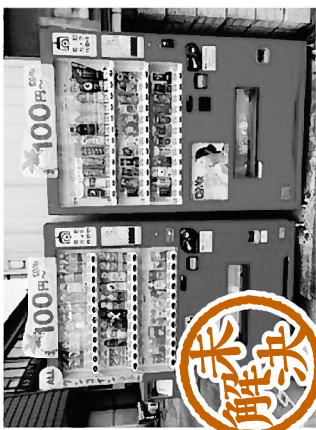
追跡レポート

その後どうなったあの提言

議員が行う提言は、町政にどのような反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から、その後の過程について調査・追跡しました。

福祉作業所さくらにAED設置を

社会貢献型自動販売機の設置を



提言

通所者の中には、より健康への配慮が必要な方もおり、不測の事態に備えてAEDを設置すべき。

議員の提言
(一般質問)
平成30年3月

平成31年
4月より

追跡結果

一般質問の際に、必要性等について関係者から意見を聞いて検討したいと答弁。その後、経過追跡をしたところ、平成31年4月から設置されていたことが確認された。

提言

様々な付加機能（防犯カメラ、募金型、AED付帯）が付いた社会貢献型自動販売機を導入して、防犯や経費削減につなげるべき。

議員の提言
(一般質問)
令和元年6月

令和3年
現在

追跡結果

大河原駅東側に防犯カメラが付加されたものを検討してきたが、警察との協議の結果、通常の防犯カメラを設置。公共施設については、こういった機能が付いたものが相応しいのか、継続して検討したい。

こんな町に住みたいな

令和二年度三月卒業
金ヶ瀬小学校

添田 紗月さん
平間 愛更さん
佐久間 凜音さん
久光 瑛心さん
鈴木 悠介さん

私たちが考える未来の大河原町はにぎやかで楽しく元気な町です。今は観光客が少ないなど問題があります。それを解決するためには、さくらつきーや千本桜などを生かし、オー方でのさくらつきー色ぬり体験や桜の枝を使った染め物、梅味のかまぼこ作りなどをすればよいと思います。

今の大河原町はいろいろな問題があると思いますが、それにしっかりと向き合っていけば、今の町をこえる、すばらしい町になると思います。



令和二年度三月卒業
金ヶ瀬小学校

鈴木穂乃花さん
金子 姫乃さん
平山 一湧さん
川口 夢登さん

私たちの理想の町は、子供たちがより自然に親しむことができる町です。

そのためには大河原町の自然を利用したアスレチックを設置してほしいと思います。そこで環境問題を話し合



今回の表紙は



子供議会などを開きます。そのことでいろいろな人が環境を考えるきっかけになってほしいと思います。

また、小中学生だけでなく、地元の高校と交流する機会を増やし、いっしょに大河原の伝統や未来を考えていければと思います。



頑張っている
子どもたち

祝 柴田高校野球部
第93回 選抜高等学校
野球大会
甲子園初出場

柴田高校野球部には、大河原中学校の卒業生が5名在籍しています。

球児なら誰もが憧れる「甲子園」、昨年の東北大会では公立学校でありながら見事に準優勝し、文句なしで出場権を勝ち取りました。コロナ禍で大会開催が非常に難しい状況にありましたが、無事開催されました。一回戦で敗れましたものの、強豪校相手に堂々とした戦いぶりは見事のものでした。夏の大会での更なる活躍に期待しましょう。

今回は、4月5日に行われた「町立桜保育所の入所式」です。

今年3月に完成し、新しい保育所でのスタートとなりました。所内は、ほのかに木の香りが漂い居心地のよい空間となっています。また、テラスからは白石川沿いに咲く満開の桜を見ることが出来ます。たくさんのお友達と楽しく過ごしてください。

(須藤 慎)

編集後記

新型コロナウイルス感染症が宮城県において増加しており、大河原町でも同様です。それぞれの業種において様々な影響が出ているものと推察いたします。

一日も早く収束に向かうことを願うばかりです。そんな中、柴田高校野球部が甲子園大会に初出場を果たし、見事な戦いぶりで私たちに勇気と感動、元気を与えてくれました。心から健闘を称えたいと思います。

今回、今の広報委員会最後の編集作業となりました。改選後また新たなメンバーでスタートさせていただきます。4年間ありがとうございました。

(須藤 慎)

編集発行責任者 議長 佐藤 貴久
議会広報常任委員 委員長 佐久間 克明
副委員長 須藤 慎
委員 万波 孝子
委員 大沼 忠弘
委員 高橋 豊